

「高校生バイオコン 2018」で 審査員特別賞を受賞しました！

10月20日（土）に東京工業大学すすかけ台キャンパスで行われた「高校生バイオコン 2018」で、本校の高校2年生のチームが審査員特別賞を受賞しました。「高校生バイオコン」とは、東京工業大学生命理工学院が主催し、高校生が小中学生向けのバイオ教材を開発するコンテストです。コンテストは2部構成で、第1部はホールでのプレゼンテーション、第2部は「お試しタイム」とよばれる、教材を実際に体験していただく時間でした。本校からは高校2年生の5人が参加し、テーマを「足のフシギ」と題して、ヒトが直立二足歩行を行う際に、いかにかかとが重要な役割を果たしているかを実感することができる靴「ふにゃっと苔色シューズ」を開発しました。6月から始動したものの、アイデアが二転三転してコンテストに間に合わないのではないかという不安もありましたが、東工大生のサポートを受けつつ、コンテスト直前まで努力した結果、見事な教材が完成しました。当日は、コンテストの趣旨に沿ったわかりやすいプレゼンテーション、他にはない独創的な教材開発などで、大学教授や教材開発会社の方などからなる審査員の方々から高い評価をいただきました。参加した5人中4人が物理選択の（生物を選択していない）生徒でしたが、生物学にも興味を持ち、これまでの学校生活で培ってきた論理的な思考力や表現力、行動力を発揮した結果がこのような賞につながったのだと思います。生徒たちが今後もその力を伸ばし、大いに発揮してくれることを期待しています。

